

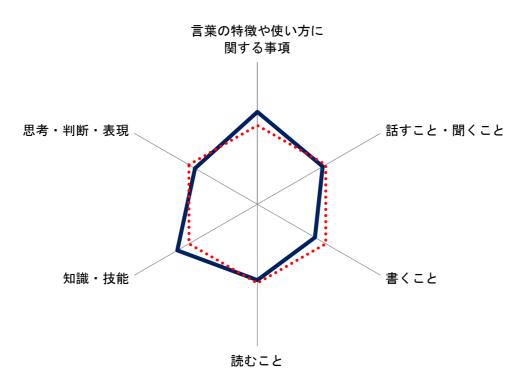
令和7年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別等の状況) 結果

愛南町(篠山含む)

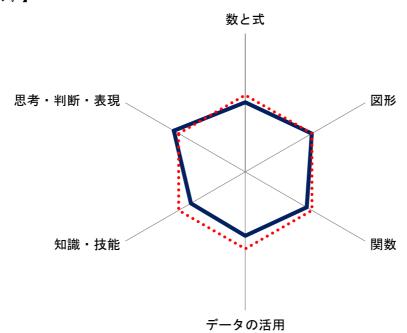
○ 教科に関する調査(全国の平均正答率との差)

 【国語】
 —— 町平均

 …… 全国平均



【数学】





令和7年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別等の状況) 結果

愛南町(篠山含む)

○ 教科に関する調査(全国の平均正答率との差)

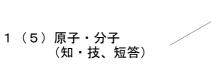
【理科】

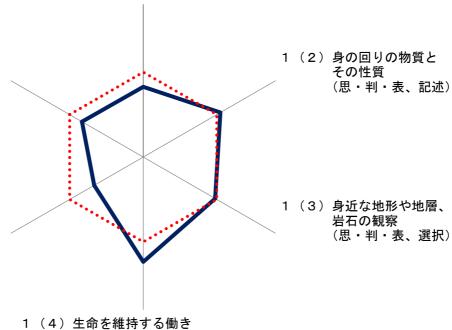
※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに 全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの 町平均全国平均

1 (1) 電気とそのエネルギー (知・技、選択)

(知·技、選択)

1 (6) 身の回りの物質と その性質 (思・判・表、記述)



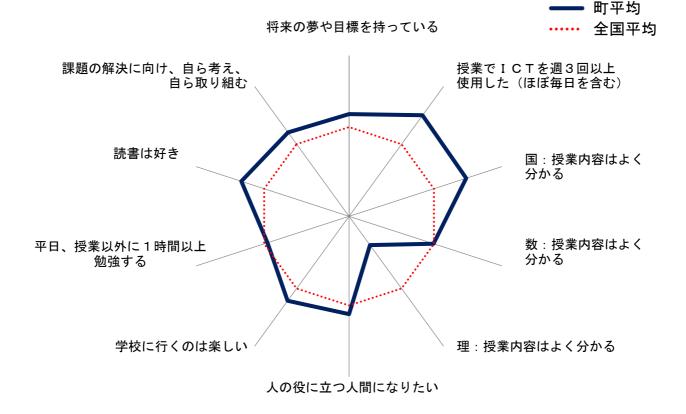




令和7年度 全国学力・学習状況調査 (学習や生活の状況) 結果

愛南町(篠山含む)

○ 生徒質問調査(全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「知識・技能」の項目が全国平均を大きく上回っている。一方、国語の「書くこと」、数学の「データの活用」「知識・技能」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。また、理科は公開問題1(4)の既習の知識の活用を問う問題が全国平均を大きく上回っているものの、1(5)は全国平均を大きく下回っており、基礎的・基本的な知識の理解に課題が見られる。今後は、生徒一人一人の結果を詳細に分析するとともに、知識及び技能の習得と、それを基盤とした思考力、判断力、表現力等の向上を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

生徒質問調査では、理科の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られるものの、それ以外の項目は、全国平均を上回っており、良好な結果である。今後は、授業の理解度について課題のあった理科を中心に、生徒が「分かる」「できる」を実感するよう、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進するとともに、ICTを効果的に活用した家庭学習の在り方を研究することで、更なる充実を図る取組が望まれる。